

公園の一角に新たなにぎわいを～民間ベースで担う場づくり人づくり～

- 人づくり
- 場づくり



天平の丘公園古民家カフェ夜明け前・10 picnic tables は、第30回栃木県マロニエ建築優良賞を受賞（平成30年11月）

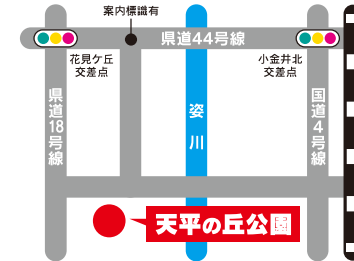
シモツケクリエイティブは、公民連携のひとつの方法、公設民営の方式により採用され、夜明け前の改修設計の段階から運営の担い手として参画し、随所にアイデアが活かされています。平成29年度から古民家カフェとコミュニティスペース夜明け前の管理許可を市から受け、年間を通してイベント等で施設の魅力を発信しています。

イベント開催にあつては、多様な人材を発掘し、丁寧に育み、話題性のある事業に登用していきたいとのこと。

なお、施設は地方創生の交付金を活用し整備されました。

※夜明け前は、島崎藤村の作品「夜明け前」をもとに名付けられました。

シモツケクリエイティブは夜明け前広場ににぎわいをつくる取組をしているんだ。



古民家カフェ夜明け前・10 picnic tables (下野市国分寺 821-1 天平の丘公園)

定休日 木曜 / 第3水曜日

問合せ先 Tel: 0285-38-8199 メール: info@tenpyopark.com



シモツケクリエイティブは、地域の未来へつながるまちづくりを効果的に展開するため、平成29年3月に社員10名(うち理事3名)で一般社団法人として設立されました。新たな切り口で市の魅力を発信する「しもつけフェスティバル」を平成28年から年1回開催しています。法人が持つ多様な人とのつながりや機動力で、市役所の芝生の市民ひろばと庁舎1階ロビーを有効活用し、第1回目5千人、第2回目1万人、第3回目1万人弱の来客があり、定期的なイベントとして定着してきています。(写真左 しもつけフェスティバル)



左から 理事の田村友輝氏、マママガ担当高橋ひろみ氏



左からマママガ0号、創刊号



右 改修前の夜明け前

現在の夜明け前は平成7年から2年かけて公園内に移築されました。古民家の多くは、築造時、大工さんが住み込みで半年以上かけてつくったそうです。かやぶき屋根をふき替える時も、職人さんが住み込みで作業をしました。夕飯時などは、家族に限らず人が出入りし、食を共有していたとのこと。元来、シェアスペースとして機能していたのでしょう。夜明け前は江戸末期に建造され約160年経過して希少性も高まっています。



シモツケクリエイティブは、人とのつながりを有効活用して新たな仕事づくりにもつなげているよ。その一例が、子育て中のママさん向け情報紙マママガの創刊なんだ。
第2号は平成31年3月発行(予定)だよ。マママガ担当の高橋さん自身の子育て経験から、お子さん連れて出かけられるお店の情報など、あったらいいなを形にしたんだ。



つながッテルね!
条例9条

(参画)一部抜粋

第9条 2 市民は、まちづくり及び市政に関心や問題意識を持ち、積極的な参画に努めるものとする。